

平成28年度
第1回 宮崎県河川整備学識者懇談会
=対象河川における流域の特徴=

- 1. 対象河川の流域の特徴**
- 2. 対象河川一覧比較表**

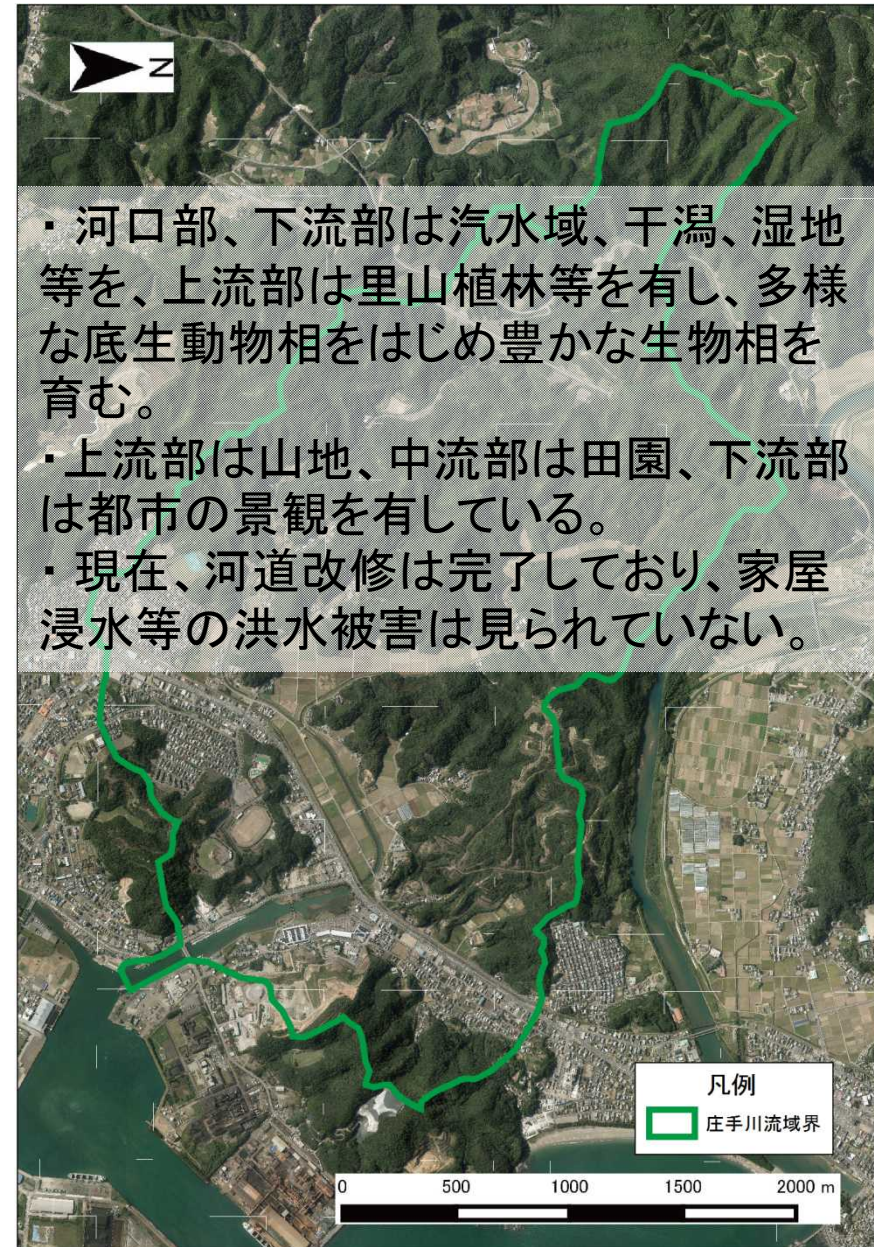
開催日 : 平成28年10月12日 13:30~15:30

開催場所 : 日向市中央公民館

1.対象河川の流域の特徴（庄手川）

資料-3

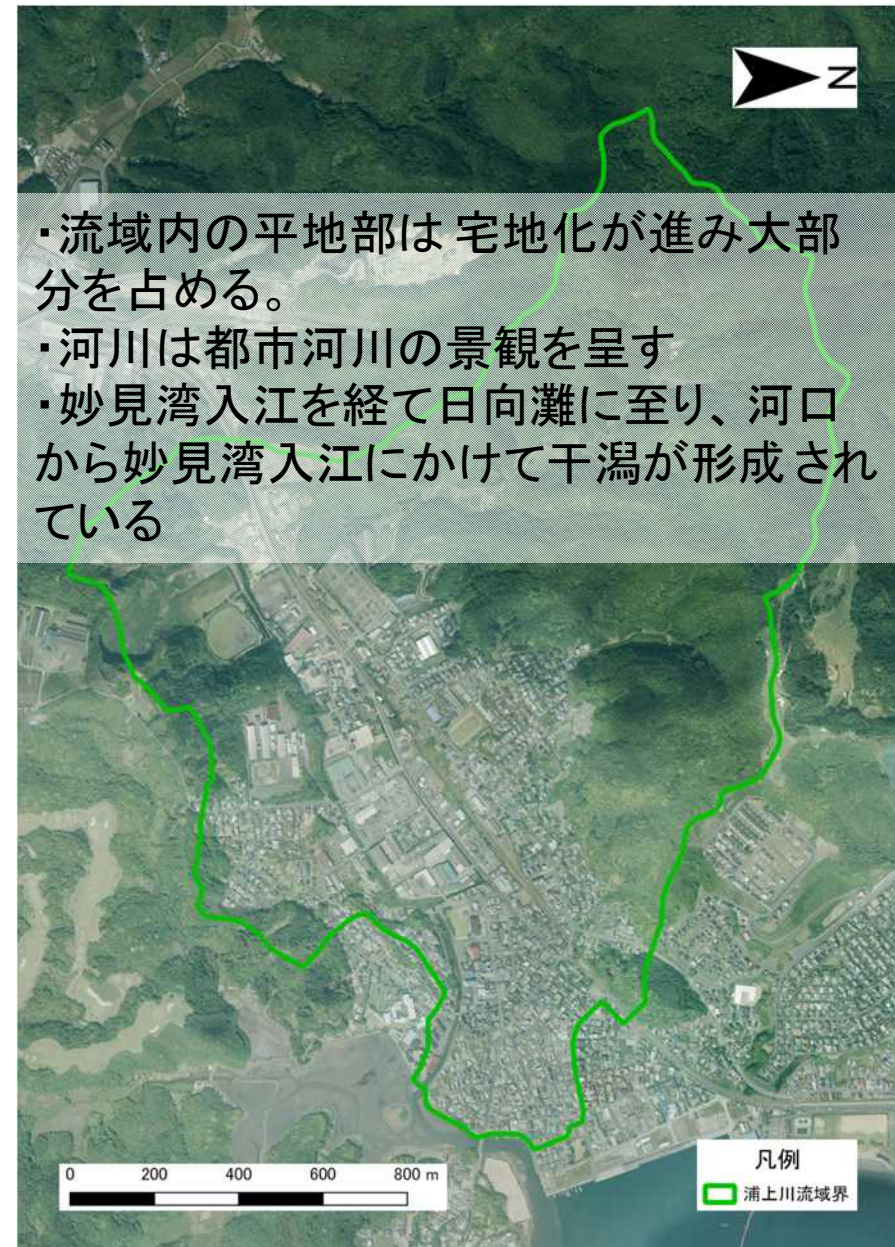
流域の諸元	流域面積	6.6 [km ²]	幹川流路延長	3.4 [km]
	流域内人口	3,000 [人]	源流標高	346.8 [T.P.m]
	河床勾配(河口部)	1/1,000	河道形状(河口部)	単断面
	川幅(河口部)	70[m]		
関係市町村	日向市			
気候	南海型気候区			
地形・地質	山地（上流）→谷底平野（中流）→低地（下流） 古第三紀（上～中流）固結堆積物 頁岩 沖積世（中流～下流）未固結堆積物 礫・砂・泥			
河口域の現状	汽水域、干潟、湿地			
河川の特徴	自然環境	—		
	社会環境	国道10号、JR日豊本線、市街地		
	歴史・文化	庄手のため池（江戸時代末期に造成） 細島港（明治20年ゲレーテ技師による港湾整備） ただし、指定されたものは該当なし。		
	河川利用	釣り、散策（防潮堰及びその上流に河川公園有）		
	河川景観	山地風景→田園風景→都市風景		
	河川環境	下流部：干潟、ヨシ原等の湿地		
	その他	防潮堰		



1.対象河川の流域の特徴（浦上川）

資料-3

流域の概要	流域の諸元	流域面積	2.2 [km ²]	幹川流路延長	2.8 [km]
		流域内人口	2,200 [人]	源流標高	220 [T.P.m]
		河床勾配(河口部)	1/1,000	河道形状(河口部)	単断面
		川幅(河口部)	20[m]		
	関係市町村	延岡市			
	気候	南海型気候区			
河川の特徴	地形・地質	山地（上流）→低地（中流から河口） 中期始新世～完新世（上～中流）砂岩・泥岩 後期更新世～完新世（下流）堆積岩類			
	河口域の現状	干潟、汽水域			
	自然環境	—			
	社会環境	土々呂地区市街地、幼稚園、コミュニティセンター 国道10号線、延岡南道路、JR日豊本線、 県道（主要地方道北方土々呂線）			
	歴史・文化	霧島神社「面まつり」 埋蔵文化財「土々呂城跡」「仏生寺遺跡」「旧極楽寺跡」			
	河川利用	潮干狩り（河口から広がる妙見湾入江）			
河川景観	山地風景→都市風景				
河川環境	中流部：水際の良いエコトーン 下流部：干潟、ヨシ原				
その他					



2.対象河川一覧比較表 (流域・河川の特徴等) 資料-3

項目	熊野江川	沖田川	鳴子川	五十鈴川	塩見川	赤岩川	新別府川	清武川	加江田川	伊比井川	宮浦川	風田川	細田川	福島川	庄手川	浦上川	
流域面積 [km ²]	11.4	40.30	15.7	209.4	41.4	12.5	28.4	166.4	53.8	14.0	9.7	6.7	78.7	179.8	6.6	2.2	
幹線流路延長 [km]	5.8	13.3	7.3	48.0	12.3	6.6	10.0	28.8	17.5	7.5	5.8	2.7	16.0	28.0	3.4	2.8	
計画高水 [m ³ /s]	150	220	290		360	180	480	2,000	600	190	150	120	800	1,000	130		
気候	南海型気候区 気象観測所データに基づく(気象庁)																
源流標高 [T.P.m]	614	300	428	1,101	300~400	300~400	120	1,118	738	738	500	300	783	692	347	220	
地形	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	丘陵地 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 谷底平野 ↓ 沖積平野 ↓ 河口	山間地 ↓ 沖積平野 ↓ 河口
地質	中生代堆積岩	古第三紀堆積岩	古第三紀堆積岩	古第三紀堆積岩	新第三紀火成岩	新第三紀火成岩	第四紀堆積層	古第三紀堆積岩	新第三紀堆積岩	新第三紀堆積岩	新第三紀堆積岩	新第三紀堆積岩	古第三紀堆積岩	古第三紀堆積岩	古第三紀堆積岩	古第三紀堆積岩	
主な土地利用	山林農地	山林農地市街地	山林農地市街地	山林農地市街地	山林農地市街地	山林農地市街地	農地市街地	山林農地市街地	山林農地	山林	山林	山林農地	山林農地	山林農地市街地	山林農地市街地	山林市街地	
流域・河川の特徴	谷底平野が河口まで連続。 山林が河口まで連続。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	河口部に一部沖積平野をもつ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 山林が河口まで連続。	谷底平野が河口まで連続。 山林が河口まで連続。	谷底平野が河口まで連続。 山林が河口まで連続。	河口部に一部沖積平野を持つ。 山林が河口まで連続。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 農地・市街地形成。	谷底平野が河口まで連続。 農地・市街地形成。	広い沖積平野を持つ。 市街地形成。	

2.対象河川一覧比較表 (社会環境等) 資料-3

項目	熊野江川	沖田川	鳴子川	五十鈴川	塩見川	赤岩川	新別府川	清武川	加江田川	伊比井川	宮浦川	風田川	細田川	福島川	庄手川	浦上川
関係市町	延岡市		門川町	門川町 美郷町	日向市		宮崎市		日南市						日向市	延岡市
流域内人口[人]	500	33,000	7,200	9,400	20,000	8,000	85,000	48,000	5,000	200	150	1,200	5,500	18,000	3,000	2,600
自然環境	日豊海岸 国定公園				日豊海岸 国定公園	日豊海岸 国定公園			日南海岸 国定公園	日南海岸 国定公園	日南海岸 国定公園	日南海岸 国定公園	日南海岸 国定公園			
社会環境	ひむか遊 パークウミ ウラ	延岡 市街地	門川 市街地	門川 市街地	日向 市街地		市街地 開発	清武・田野 市街地 宮崎大学				河口部に 病院等が 立地	観光特急 海幸山幸	串間 市街地	市街地	市街地
歴史・文化	熊野江神 社・神楽	伊形花笠 踊り		小松石塔群 門川城跡 市木のナギ 舟方轟	ひよっとこ 踊り			本野原 遺跡 舟引神楽	双石山	伊比井神 楽	宮浦神社 鵜戸参り	さとねり 風田ほん おどり	榎原神社	下弓田遺 跡	—	霧島神社
河川にまつわる文化・歴史等	水神様	伊形花笠 踊り	水神様	—	—	水神 祭り	一ツ葉稲荷 神社	黒北 発電所 外所地震	外所地震				河口砂嘴 の市街地	精霊流し	庄手の ため池	—
河川にまつわる天然記念物		アカウミガ メ及びその 産卵地(県)			アカウミガ メ及びその 産卵地(市)	アカウミガ メ及びその 産卵地(市)		アカウミガ メ及びその 産卵地(県)	アカウミガ メ及びその 産卵地(県)			アカウミガ メ及びその 産卵地(県)			—	—
特徴的な河川環境	河口干潟 塩性湿地 底生動物	蛇行 汽水域 河口砂州		溪流 甌穴群 水量が 豊富	河口干潟 汽水域	河口砂州	一ツ葉 防潮堰 宮崎港	溪流 河原 河口干潟 水量が豊 富	溪流 河原 河口干潟	自然河岸 地層露出		河口砂州	河口砂嘴 蛇行	溪流 河原 河口干潟 塩性湿地 (福島港)	干潟 湿地(下流)	河口から 広がる 干潟
環境基準(本川の状態)	— (AA相当)	B類型 (クリア)	A類型 (クリア)	A類型 (クリア)	A類型 (クリア)	— (A相当)	— (AA相当)	A類型 (クリア)	AA類型 (クリア)	— (AA相当)	— (AA相当)	— (AA相当)	AA類型 (クリア)	AA類型 (クリア)	— (AA相当)	— (AA相当)
河川利用	—	沖田ダム 青谷城公 園	水神様	釣り、祭り	潮干狩り 内水漁業	小倉ヶ浜 総合公園	—	木原河川 緑地公園 など多い	加江田溪 谷	簡易水道 サーフィン	サーフィン 授業	サーフィン	鯛取ふれ あい公園 海水浴等	赤池溪谷 赤池の滝	釣り・散策 河川公園 環境保全 活動	潮干狩り (河口から 広がる妙 見湾入江)
その他	滞筋が発 達。底生動 物の出現 種が豊富	ハマボウ群 落	門川町の 都市景観 要素	—	日向市の 都市景観 要素	コアジサシ の営巣地	商業地や 住宅地の 開発が活 発化	—	—	表流水を 簡易水道 として使 用	表流水を 簡易水道 として使 用	河口域に 病院や社 会福祉施 設が立地	砂嘴上に 古くから の市街地 が形成	—	防潮堤	—

2.対象河川一覽比較表 (河口域の特徴) 資料-3

項目	熊野江川	沖田川	鳴子川	五十鈴川	塩見川	赤岩川	新別府川	清武川	加江田川	伊比井川	宮浦川	風田川	細田川	福島川	庄手川	浦上川
河口域の平面形	直線	蛇行	湾曲	直線	湾曲	直線	直線	湾曲	湾曲	直線	蛇行	湾曲	蛇行	湾曲	直線	直線
河口域の縦断勾配	1/600	1/1,500	1/700	1/800	1/2,500	1/2,500	1/3,000	1/800	1/4,400	1/400	1/350	1/330	1/2,600	1/2,200	1/1,000	1/1,200
河口域の川幅(m)	単断面 30	複断面 150	単断面 70	複断面 150	複断面 300	単断面 40	複断面 70	複断面 250	複断面 300	単断面 50	単断面 25	単断面 30	複断面 150	複断面 200	単断面 70	単断面 20
水深の多様性	一定 (平坦河床)	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	一定 (平坦河床)	深場・浅場	深場・浅場	一定 (平坦河床)	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場	深場・浅場
河床材料	礫・砂	礫・砂	礫・砂	礫・砂	砂・シルト	砂・シルト	砂・シルト	礫・砂	砂・シルト	礫・砂	礫・砂	礫・砂	砂・シルト	砂・シルト	砂・シルト	礫・砂
河口砂州	開口	開口	開口	開口	開口	閉塞	開口	開口	開口	閉塞	閉塞	閉塞	開口	開口	開口	開口
汽水域(km)	0.9	5.2	1.2	2.6	5.0	2.6	0.3	2.0	3.5	0.8	0.8	0.8	3.0	5.0	0.8	0.6
平常時の流れ	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	滞留	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	滞留	滞留	滞留	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)	順流・逆流 (潮汐変動)
河口域の現状	短い汽水域に潮汐変動による深場・浅場が凝縮。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	河床は平坦でやや単調な環境。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	河口閉塞により滞留した長い汽水域が広がる。	堰上下流で淡水・汽水が分断。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	河口閉塞により滞留した単調な汽水域が広がる。	河口閉塞により滞留した汽水域が広がる。	河口閉塞により滞留した汽水域が広がる。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	長い汽水域に深場・浅場が形成され、多様性豊か。	堰上下流で淡水・汽水が分断。	短い汽水域に潮汐変動による深場・浅場が凝縮。
河口域に形成された典型的な環境	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地砂丘	開放水面干潟	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地砂丘	開放水面湿地砂丘	開放水面砂丘	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地ワンド砂丘	開放水面砂丘河畔林	開放水面湿地砂丘河畔林	開放水面湿地砂丘河畔林	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地	開放水面干潟湿地
魚類 (重要種数)	48 (7)	44 (6)	32 (5)	21 (3)	14 (3)	15 (1)	29 (0)	57 (10)	44 (7)	10 (2)	12 (3)	25 (3)	49 (7)	62 (10)	34 (7)	31 (5)
底生動物 (重要種数)	125 (30)	84 (20)	70 (22)	67 (14)	37 (10)	15 (2)	68 (7)	84 (24)	79 (25)	26 (3)	34 (2)	42 (3)	72 (14)	97 (21)	117 (30)	24 (8)
鳥類 (重要種数)	37 (2)	56 (4)	35 (2)	41 (5)	56 (5)	38 (3)	51 (5)	77 (11)	62 (7)	27 (1)	31 (1)	45 (7)	41 (5)	76 (12)	39 (2)	42 (3)
植物 (重要種数)	241 (4)	269 (5)	169 (2)	247 (0)	253 (9)	169 (3)	168 (0)	301 (5)	346 (8)	84 (1)	138 (1)	185 (1)	150 (2)	353 (7)	210 (0)	285 (3)